

看護倫理

更新日：2021/02/26 12:29:21

開講年度	2021	学期	後期	シラバスコード	88030		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880300
担当教員	柳井 圭子, 中村 光江						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（保健・看護コース必修）（助産教育コース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

看護倫理の基本的考え方や諸概念について学び、看護実践における倫理とは何かを探究するとともに、臨床における倫理的問題や葛藤についての分析およびそれらに対する解決策の検討を通して、高度な看護実践に求められる倫理的思考や関係者間における倫理的調整能力を養う。

到達目標

1	看護倫理の基本となる考え方、倫理原則、モデル、諸概念を理解する。
2	看護実践において生じうる倫理的問題・葛藤について、多角的な視点から分析し、討議することができる。
3	看護実践の場で遭遇する倫理的課題について、解決への具体的方法を見出し、必要な調整を遂行できる能力を養う。

DPとの関連

DP1 ◎

DP5 ○

授業計画

1	看護倫理の基本と特徴 【授業内容】看護倫理の基盤となる考え方とその発展過程を学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】中村
2	臨床における意思決定支援 【授業内容】臨床における意思決定支援の特徴および課題について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】中村
3	看護職者の倫理規範 【授業内容】看護職者の倫理綱領（日本看護協会）の条文を検討する。 【授業方法】講義 【担当】柳井
4	看護職者の法的責任 【授業内容】民事・刑事・行政・労働の視点で法的責任について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】柳井
5	事例検討（1）：看護実践における意思決定支援 【授業内容】意思決定支援を要する臨床事例を基に、看護者の役割を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】中村 柳井
6	事例検討（2）：臨床における倫理調整・コンサルテーションの基本 【授業内容】倫理調整・コンサルテーションにおける看護職者の基本的役割を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】中村 柳井
7	事例検討（3）：看護専門職としての倫理コンサルテーション 【授業内容】看護スタッフが抱える倫理的課題の事例を基に倫理コンサルテーションの役割を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】柳井 中村
8	まとめ—倫理的課題と対応について 【授業内容】自身の経験から関心のある倫理的課題を取り上げ、その対応策を検討する。 【授業方法】プレゼンテーションと討議 【担当】柳井 中村

学習方法

臨床で話題となっている看護に関する倫理問題を把握しましょう。授業は、講義および事例検討、院生のプレゼンテーション、全体討議で進めていきます。講義内容に関連した事項について、文献・資料等を確認して授業に臨んでください。

オフィスアワー

メールで事前に連絡をとってください。

柳井：k-yanai@jrckicn.ac.jp（木曜日の昼休み）

中村：m-nakamura@jrckicn.ac.jp（火曜日の昼休み）

テキスト

特に指定しない。

参考文献

下記以外は、授業内で紹介します。

小西恵美子：看護倫理を考える言葉.東京,日本看護協会出版会,2018.

Fry, S.T.: Ethics in Nursing Practice THIRD EDITION - A Guide to Ethical Decision Making, 2008. 片田範子, 山本あい子訳：看護実践の倫理【第3版】倫理的意思決定のためのガイド. 東京, 日本看護協会出版会, 2010.

野崎和義・柳井圭子：看護のための法学 [第5版] .東京,ミネルヴァ書房,2020.

宮脇美保子：看護実践のための倫理と責任. 東京, 中央法規, 2014.

Chambliss, D. F.: Beyond Caring: Hospitals, Nurses, and the Social Organization of Ethics, 1996. 浅野祐子訳：ケアの向こう側 看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾. 東京, 日本看護協会出版会, 2002.

Thompson, J. E., Thompson, H. O. Bioethical Decision making for nurses, 1985. ケイコ・イマイ・キン, 竹内博明監修・監訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ. 東京, 日本看護協会出版会, 2004.

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション、討議）：50%、課題レポート：50%、総合的に評価する。